

三重教務所通信

2023

7月号



発行人:三重教務所長 長澤 隆司
〒511-0073 桑名市北寺町 47 教務所開所時間 平日 9:00~17:00
☎:0594-21-8000 FAX:0594-21-8010

✉ 三重教務所 E-mail mie@higashihonganji.or.jp
桑名別院本統寺・三重教区HPアドレス <http://mie-betsuin.com/> 📧



○教務所長人事のお知らせ

このたび、下記のとおり発令されましたのでお知らせいたします。

氏 名	前役職	発 令	発令日
安田 雅	三重教務所長	名古屋教務所長に任命します	2023年7月1日
長澤 隆司	名古屋教務所次長	三重教務所長に任命します 桑名別院輪番の兼務を命じます	

○ 教区教化委員会開催

去る6月1日、前日の5月31日に3年間の任期が満了した前委員が出席し、教区教化委員会を開催しました。協議内容は、①各小委員会・所属団体2022年度事業報告及び3年間の総括・点検について、②慶讃法要三重教区お待ち受け大会報告、③2023年度からの教区教化方針について協議を行いました。

特に、2023年度からの教区教化計画概要では、これまで「教区同朋会議」(2019年4月開催)などで「取り組むべき課題」として提起されていた、「教区教化事業・教区教化体制」の見直しに向けて具体的に着手する「三重教区教化研修計画企画書(案)」が示されました。この内容は、①



教区教化機構の再構築、②教区慶讃事業の推進の2点を教区教化重点プロジェクトと位置付け、既存の教化事業を実施中及び資格取得の事業を除き基本的に休止し、ワークショップなどを通して、教区慶讃事業としてゼロベースから教化事業を練り上げながら、教化機構の再構築を3ヶ年一体型として計画されるものです。併せて、今後検討すべきものである、教区としての「宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要」の厳修など、教区慶讃事業推進委員会を立ち上げ、教区教化委員会と連動として協議がなされていきます。

この案は、教化推進総務会において協議を重ね、教化委員会各小委員会にも進捗状況

を伝えながら進めてきたが、委員からは、「教化事業を止めてまでなぜ今、教化体制の見直しが必要なのか」「教区慶讃法要と教区教化機構の再構築は分けて考えるべきではないか」、「教区慶讃法要を行うことについては、もう少し協議が必要ではないか」などの意見があった。

今後、新教化委員が、7月12日開催の教化委員会（総会）において、2023年度教区教化研修計画概要及び教区教化テーマ、新年度事業について協議される予定。

○三重教区教化委員について

任期満了による三重教区教化委員の改選が行われ、次のとおり委員が決定しましたのでお知らせします。

N0	氏名	組名	寺院教会名	N0	氏名	組名	寺院教会名
1	林 恒男	桑名	明圓寺	23	中川和子	三重	常願寺
2	林 謙介	桑名	明圓寺	24	栗田 顯	三重	乗得寺
3	和田清一	桑名	西恩寺	25	柴田 徹	四日市	歴明寺
4	伊藤龍治	桑名	空念寺	26	高木 彩	四日市	信光寺
5	飯田弘登	桑名	福榮寺	27	鈴木 勘吾	四日市	法藏寺
6	伊藤誓英	桑名	明圓寺	28	本田武彦	四日市	蓮生寺
7	内山智廣	桑名	大信寺	29	檉 歩	中勢1	安養寺
8	荒木智哉	桑名	西光寺	30	大橋宏雄	中勢1	淨願寺
9	三枝明史	桑名	空念寺	31	松井茂樹	中勢2	淨得寺
10	長崎 直	長島	善明寺	32	海野真人	中勢2	法因寺
11	藤崎周子	長島	淨福寺	33	石原 孝	中勢2	法因寺
12	伊東幸典	長島	正敬寺	34	高野昭磨	伊賀	専稱寺
13	員辨 暁	員弁	圓光寺	35	酒井 誠	南勢1	道淨寺
14	石川加代子	員弁	西方寺	36	米澤典之	南勢1	常照寺
15	佐々木治実	員弁	傳西寺	37	小幡実穂	南勢1	西光寺
16	三浦 統	員弁	覺通寺	38	河村論	南勢1	教樂寺
17	渡邊憲明	員弁	圓授寺	39	折戸沙紀子	南勢1	法受寺
18	渡邊 誉	員弁	西願寺	40	西寺真也	南勢1	本覺寺
19	入野宣親	員弁	了雲寺	41	小幡智博	南勢1	西光寺
20	伊藤 康	三講	善行寺	42	山崎信之	南勢2	福壽寺
21	本多 益	三講	光明寺	43	藤谷智史	南勢2	立雲寺
22	坂口 愛	三重	長傳寺	44	岩田信行	南勢2	道専寺

(任期：2023年6月1日から2026年5月31日まで)

○教区門徒会員の異動について

このたび、大西明憲教区門徒会員（南勢一組西弘寺門徒）逝去に伴い、次のとおり新たに教区門徒会員が決定しましたので報告します。

大仲 和男 氏（南勢一組忍徳寺門徒）

○教区育成員研修会 住職・坊守追弔会 開催

去る6月7・8日、梶原敬一先生を講師に教区育成員研修会を開催しました。参加者は、会場33名、web12名でした。

梶原先生をお招きしての研修は3回目で、メインテーマとして「同朋会運動の願い」を掲げ、サブテーマは「僧伽に召される」で、『教行信証』を中心に講義をしていただきました。

2021年度の研修会で、「同朋会運動とは、この社会に念仏によるつながりを回復していくもの」とお話しくささいましたが、その「念仏によるつながり」とは、念仏のひびきを聞き続けることであり、世界にあふれている念仏の声を聞くことから始まると教えてくささいました。

私たちは念仏を世界へ届けることを先に考え、それが宗教者の役目(社会貢献)であるかのように考え、宗派の活動を同朋会運動という名称で実践しようとしていますが、その活動は僧伽を生み出すものではなく、同じ信仰を持つ仲間(セクト)づくりとなってしまう。宗派の都合から始まるものが同朋会運動なら、必ずセクト化し、漏れるものを差別してしまう。宗祖の念仏は聞名につきるのであり、聞が信となる。特に化身土末巻では道教や儒教など、人の営みをあげ、そこに念仏の声を聞こうとされている。その聞

を大切にするためにも『教行信証』の学びが大切であり、宗祖から始まる同朋会運動こそ、僧伽を生み出すものとなるのだとお話しくささいました。

教化委員として三カ年の任期を終え、教区に関わる仕事としては終わりますが、育成員研修会を通して、一念仏者として聴聞し続けることが宗祖から願われていると、あらためて感じさせていただきました。

(寺族門徒研修小委員会幹事 大賀 光範)



講師の梶原敬一氏



攻究(班別座談会)の様子

育成員研修会の講義終了後、桑名別院本堂において「住職・坊守追弔会」を勤修しました。

2022年度は、2022年4月1日から2023年3月31日までにお亡くなりになった教区内住職・坊守が対象で、15名の物故者がおられました。

当日は10カ寺の遺族がお参りされ、追弔会終了後はお齋をいただきながら、亡き人を偲ぶ姿が見受けられました。



住職・坊守追弔会

○「同朋ジュニア大会」開催のお知らせ

本年も同朋ジュニア大会（主催：児童教化連盟）を開催いたします。

今年は4年ぶりに鈴鹿峠自然の家での開催となり、キャンプファイヤーやカレー作りなど、楽しい企画がいっぱいです！

みんなで夏の思い出をつくりませんか？

🍉 期 間：8月17日（木）～18日（金）

🍉 会 場：鈴鹿峠 自然の家

🍉 対 象：小学校3年生から中学校3年生

🍉 募集人数：30名

🍉 テーマ：「繋がるってなんだろう？」

🍉 参加費：6,000円



詳細は同封のチラシをご覧ください。

○中高校生の集いの開催のお知らせ

新型コロナウイルス感染症により開催が延期された中高校生の集い企画が念願の初開催となります！

今回は、東本願寺での語り合いや、普段行けない京都を少しだけ大人な気分で散策します。わいわい・もやもや・ワクワク。ちょっと大人な修学旅行にみんなで行きませんか？スタッフ一同、皆様の参加を楽しみにお待ちしております。



📌 期 間：9月16日（土）～17日（日）

📌 会 場：真宗本廟・京都市内

📌 対 象：中学1年生から高校3年生まで

📌 募集人数：10名

7月のテレホン法話

7月 1日～15日 … 梅田 良恵 （三講組 圓琳寺住職）

7月 16日～31日 … 芳岡 恵基 （三重組 翠巖寺住職）

心をひらく

24時間 いつでも どこでも テレホン法話

☎ (0594) 23-6191

○「子ども会サポートブック」について



このたび、子ども会開設サポート企画要員会議より、お寺が子どもたちと共にある場となることを願い、同封の「子ども会サポートブック」を作成いたしました。

つきましては、子ども会や子どもたちと関わる寺院活動で、または子ども会を開催したいと考える方にも参考にしていただければと思います。

なお、掲載されている紙芝居や視聴覚教材、絵本等は教務所にて貸出しておりますので、ご希望の際は教務所にお問合せください。

【敬 弔】 生前のご功労を深謝し謹んで哀悼の意を表します。

南勢 1 組 教樂寺 前坊守 河村 光子 (2023 年 6 月 5 日寂)
南勢 1 組 法受寺 坊守 折戸 順子 (2023 年 6 月 22 日寂)

【住 職 任 命】

四日市組 法藏寺 鈴木 勘吾 (2023 年 6 月 28 日 就任)

【得 度】

三講組 圓福寺 服部 和 (2023 年 5 月 7 日受式)
三重組 誓源寺 水谷 柚希 (2023 年 6 月 23 日受式)

教務所の事務休暇についてのお知らせ

2023 年 8 月 14 日 (月) ～ 17 日 (木) を夏季休暇とさせていただきます。

緊急連絡先 桑名別院 TEL (0594) 22 - 0652

事務見習の教務所実習について

6 月 27 日から 7 月 26 日まで、今年、宗務所へ入所した新入職員が三重教務所で教務所実習を行っています。

名前は、稲垣 潤映 (いながき じゅんえい) です。

所属寺は 高岡教区第 2 組法縁寺 です。

教務所にお越しになられたときは、声を掛けてくださいね。



○ 特伝推進本部

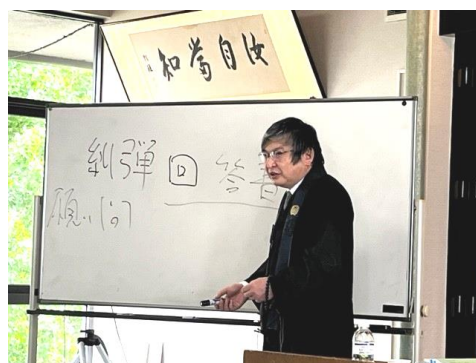
- ・ 6月9（金）～11日（日）、中勢2組、南勢2組1部部特伝真宗本廟研修が行われた。それぞれ、本講座1年度目を終え、7月以降本講座2度目が順次始まる。
- ・ 6月13日（火）、特伝講師補導研修会を行った。第11次特伝を経験した講師・補導・参加者の方々から1名ずつ課題提起を受けた後、全体座談、高柳正裕氏からの講義をいただいた。
- ・ 6月16日本部会議を開催し、2023年度以降の教化の取り組み・2023年度事業計画について協議を行った。

○ 教学研究室

- ・ 6月16日に教研室運営協議会（藤嶽室長、花山前室長、安田所長、藤井駐在、高科囁託）を開催。5月25日開催の教区会参事会からの申入れを踏まえ、教学と教区教化の充実に向けて①教研室の活動と、他の教区教化事業との連携状況の確認・見直し。並びに今後の可能性について②教区教化機構の再構築に伴う、教研室の設置意義と方向性について③他の教化組織との懇談会の開催について。以上の3点を「教研室運営委員会」にて協議することを確認。
- ・ 6月22～23日に山田恵文師（三重組安正寺住職）を迎え、公開講義『浄土論註』概論を開催。一般受講者10名、研究生13名（オンライン参加を含）が参加。二日間にわたる講義の中、山田師は学びの要点として「1点目として『論註』は龍樹、天親を視野に学ぶこと。2点目は曇鸞が題号の『優婆提舍』の語に、仏願に相応した天親における願生心の発起を注目している点を学ぶこと」を挙げられた。加えて宗祖の曇鸞和尚和讃の中、特に伝記に基づく11首の典拠から曇鸞の回心について考察いただいた。

○ 「差別と人間を考える」協議会 公開学習会開催

- ・ 去る6月21日に「是旃陀羅」問題に関する教区学習会を開催した。講師は訓覇浩氏（三重組金藏寺住職）。参加者は29名（オンライン9名含）。訓覇氏は長年にわたりこの問題に関わってきたが、「是旃陀羅」という言葉に対する自らの姿勢が変化したことを話された。観経読誦についても、「読んでではない」のではなく「読めない」という感覚になった。」と現在の心境について正直にお話しされた。



○ 教区坊守会

- ・ 6月5日に坊守会役員会を開催した。午前中に「真宗門徒の集い」についての最終確認と舞台の看板製作を行った。午後から柿安シティホールで打合せを行った。
- ・ 6月14日（水）、「真宗門徒の集い」を柿安シティホールで開催した。講師は酒井義一氏（東京教区存明寺住職）。テーマは「寺を開く」。講題は「人は皆 誰もが求道者」。当日は136名が参加された。酒井氏は、慶讃法要テーマソングを中心とした音楽を流したり、自坊の「子ども食堂」の様子を映したビデオ映像を使いながら、慶讃法要に願われていること、また、グリーフケアのお話を交えながら、わかりやすくお話いただいた。

「真宗門徒の集い」（6月14日開催）の会場（柿安シティホール）にて、財布の忘れ物がありました。

心当たりのある方は、教務所でお預かりしていますので、連絡ください。

書籍のご案内(東本願寺出版)

『真宗児童聖典』

青少幼年センター 制作

1,100円（税込）

『仏説無量寿経』『仏説観無量寿経』『仏説阿弥陀経』『正信偈』のこころを伝えることを願いに1924(大正13)年から1926(大正15)年にかけて『児童と宗教』（真宗大谷派社会課機関誌）に連載された「真宗児童聖典私考」をもとに、現代の言葉に分かりやすく語りなおし書籍化。



今月の法語

私たちの強さは弱さから生まれる

ラフル・ワルド・エマーソン（哲学者）

さる6月5日、教区内の前坊守さまが96歳を一期としてご命終され、本山代香としてその葬儀式に参列させていただく一隅のご縁をいただきました。その方は南勢一組教樂寺の前坊守河村光子（かわむらてるこ）さんです。

河村光子さんは、1982（昭和57）年から5期15年もの間、三重教区坊守会長をつとめられ、その間1987（昭和62）年から1993（平成5）まで2期6年にわたり大谷派の坊守会連盟委員長として全国の坊守の代表として尽力されました。

また、光子さんは教樂寺さんを母体する村松保育園を運営され、保育の現場にも精励され、大谷保育協会三重支部長として長年にわたり教区の青少年教化にも携わっていただきました。さらにはお寺の合唱団「ともがき」を主宰され、教区の合唱団「ひかり」にも参加され、教区・別院の蓮如上人御遠忌、宗祖御遠忌にも音楽法要や仏教讃歌を歌われていたお姿が思い起こされます。メジャーリーグの大谷翔平選手が二刀流の活躍で話題になっていますが、光子さんは三刀流、四刀流の活躍で宗門・教区そして寺門の興隆に尽くされた方でありました。

その光子さんが教区の坊守会長に就任された当時の「坊守会だより第5号」において会長就任にあたっての挨拶の文章に触れる機会を得ました。「確かな歩みを」という標題で書かれたその文章には、

住職のかげにあって、世襲制という安全弁のついたお城の中で安閑と過ごす坊守の姿勢では、もう時代社会がこれを自他ともに許さないほどのきびしさの中にさらされながら、寺院生活者の在り方を模索しているのが実際の私たちの心情ではないかといっても過言ではありません。このような状況認識にたって真剣に教えを学び、坊守に問われている課題にこたえていく道を明らかにしたいと願っております。（抜粋）

寺院生活者としての坊守とは一体何をさしているのか。この問いに國語辞典をひらいてみると、(一)寺の番人(二)小さい寺の身分の低い僧、(三)真宗の僧の妻、だいたいでている。しかし、(三)の意のように単に真宗寺院の住職の妻だけを指す名称にすぎないのでしょうか。

蓮如上人は「多量の坊主達の内方とならん人はまことに先世の宿縁からゆえとおもひ……あいかまえて信心をよくよくとらるべし……云々」とおさとしくださっています。よう、坊主という名のりの底に本当は何かが問われつづけ、厚いご催促をうけています。それは、私たちが坊守として寺院のなかに身を置かせていただいていることが昨日今日の偶然の出来ごとではなく、深い深い因縁の不可思議であり、言ってみればその寺の歴史の中から生まれるべくして生れてきたという、コトバを覚えていけば、歴史を背負って生きる「業」そのものといえるかと思えます。

住職のかげにあって、世襲制という安全弁のついたお城のなかで安閑と過ごす坊守の姿勢では、もう時代社会がこれを自他ともに許さないほどのきびしさの中にさらされながら、寺院生活者の在り方を模索しているのが実際の私たちの心情ではないかといっても過言ではありません。このような現状認識にたって真剣に教えを学び、坊守に問われている課題にこたえていく道を明らかにしたいと願っております。

昨年度は、中央の坊守研修テーマ「真宗の女性観」にそって、(一)真宗の教えの中で女性をどうみるか、(二)真宗の教えに

と表白されています。今から40年ほど前の文章ではありますが、時代社会にあって従来の姿勢では時代から取り残される。まず坊守が率先して教えを学ぶことが求められている。そして、近い将来にはもっと厳しい時代がやってくることを予見しているかのごとくの表現であります。その光子会長の願いから観無量寿經に学ぶ「坊守基礎講座」が立ち上げられ、現在の坊守研修の礎が築かれることとなりました。

毎年、教化委員会総会に出席され、豊饒（かくしゃく）としたお姿と立ち振舞いは「後をたのみますよ」と後に続くものに託すメッセージと受け取ることができました。

光子さんとお別れする現実にあって、大切なことを思い出させていただきました。



日	曜	行事内容
1	土	
2	日	
3	月	
4	火	
5	水	坊守会委員会 10:00- / 坊守会発送作業 13:30-
6	木	
7	金	
8	土	
9	日	⑤ 南勢2組一部特伝本講座 10:00-(於:道専寺)
10	月	内務委員会 14:00-
11	火	
12	水	教化委員会総会 14:00-
13	木	別院暁天講座(～17日まで)
14	金	
15	土	
16	日	
17	月	同推協役員会 10:00-
18	火	教区会参事会 13:30-
19	水	教区門徒会常任委員会 13:30-
20	木	
21	金	合唱団「ひかり」総会及び練習日
22	土	
23	日	
24	月	坊守会総会 13:00-
25	火	教区会 13:30-【予定】
26	水	教区門徒会 13:30-【予定】
27	木	
28	金	
29	土	
30	日	
31	月	児連一泊研修会(～8/1 まで)

① ご坊さんだより ②「同朋ジュニア大会」開催案内 ③中高校生の集いチラシ ④青少幼年だより